

【2012.06.07 の話し合い】

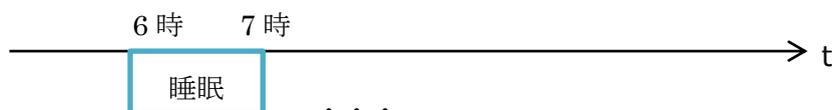
★本日の議題

何を出力するか(コンセプトに沿って)

■出力するもの(基本的な機能)

以下, そのアイデア(見守る側が家族と想定した場合)

- ・ペルソナが一日どう過ごしたかを表すタイムテーブル(時間割みたいな?)



- ・地図(GPSを使って)
- ・じじばば → 見守る側へ一言
- ・見守る側からの一言 → じじばば

【疑問】

- そもそも孤独死はなぜ起こる?
- 孤独死の何が問題で, 情報の出力が必要?
- 解決できるか? 一番の問題は?
 - ・アイデアをこじ付けて問題点が解決できるかは別問題。
 - ・複合機・プリンタ操作は電話よりも手間がかからない? 本当に?
 - ・生活習慣の見直しになる。(情報の出力により)
 - ・孤独死=家族のつながりがない?
 - 見守る側に一方的に送るだけなら, 孤独死はおこらない?
 - 絶縁状態, 連絡先がない等
 - 孤独死の確率が低い過程の話ではないか←家族がいる前提で話をしている

ている

- ・孤独死
 - ・見守る側がいるなら孤独死の確立は低い
 - ・見守ろうと思う家族なら, ちゃんと気に掛ける
 - ・孤独死の割合: 身寄りがない > 身寄りがある
- ↑のどちらの場合を考えるか

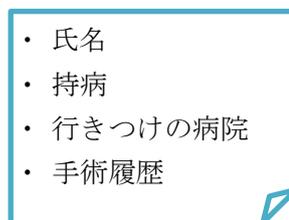
■ 考えている「見守り」とは

☆ 身寄りがない場合は、施設を想定

- ・ 通常時 : 孤独死 (他, 命にかかわること) の予防
 - ・ 一日どう過ごしたかのタイムテーブル
 - ・ 地図 (GPS を使う)
 - ・ じじばば → 見守る側へ一言
 - ・ 見守る側 → じじばばへの一言
 - ・ 地域ごとの情報の送信 (じじばばへの) ← 介護施設などのサーバから
 - ・ 個別の家庭の情報
- ・ 緊急時 : 電話ができない状況を想定
 - ・ 行きつけの病院に情報を送る
 - ・ SOS+住所
 - ・ 訪問介護施設等へ情報を送る ← 孤独死などの予防のために多く設立
 - ・ 監視結果に基づいてアドバイス
 - ・ 電話できないけど, 押すだけならできる状況
 - ・ 苦しい…ボタンポチッ
- ・ 送るものは一緒だけど, UI 面では,
一般家庭はわかりやすいもの, 介護施設等は詳細な情報がほしい

・ 送ると救急隊に見せる情報は別

- ・ 送信先の出力 : 救急隊が必要な既定の情報
- ・ 自分側に出力 : 本人の名前 [本人確認のため], 持病の情報, かかりつけの病院の情報, 手術の履歴



- ・ 施設 : じじばば = 1:n
- ・ 送るときに一言送る : 音声認識できたら, 入力がわからなくてもやりやすい?

【現状まとめ】

・施設

プリンタ, サーバ

・じじばば宅

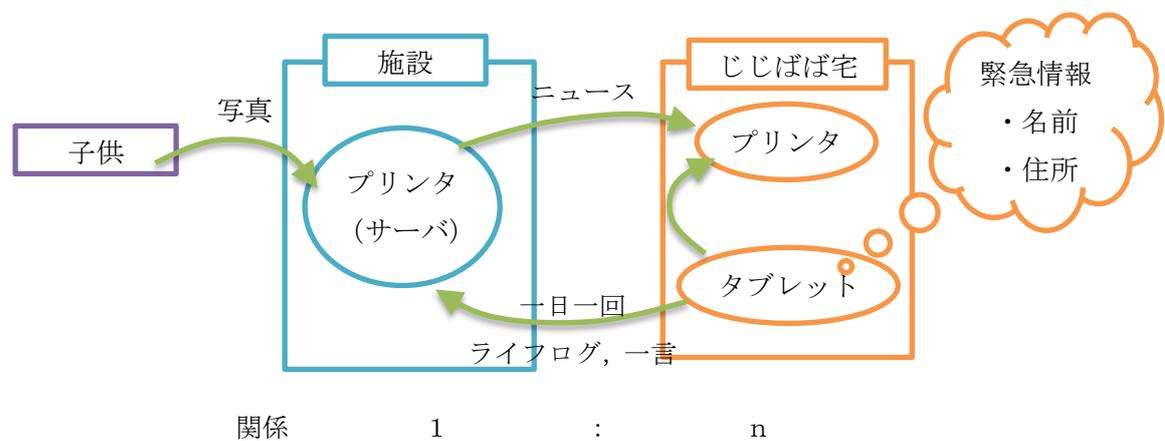
プリンタ, タブレット

1. タブレットからプリンタ or サーバに送信

ライフログ, じじばばから一言(音声認識にて)

2. 施設から送信

ニュース(1対nで一括送信)



■今後考えないといけないこと

- ・どこまでプリントするか
- ・どの程度までプリンタが動作できるのか
- ・ステークホルダを考える（「孤独死」を念頭に置いて）
 - ・重要な見守る側を確定させる

【次回の議題】

- ・他にユースケースがあるか
- ・なければ突き詰めていく